

「はたらく NIPPON！計画」A型フォーラム in 熊本

～誰のために、何のために自分たちが在るのか～

報 告 書

■日 時：平成30年11月10日（土） 10時～17時

■場 所：くまもと県民交流館パレア

■参加人数：206名

基調講演 10：10～11：10

「就労継続A型と合理的配慮」

講師：野沢和弘 氏（毎日新聞論説委員）

障害者施策の変遷と経済・企業等の側面から「合理的配慮」について、障害者の潜在的労働力、主体性を取り戻す働き方など、具体的な事例を挙げながら講演いただきました。

行政説明 11：10～12：10

「障害者就労支援施策の動向～A型事業所の現状と課題を中心に～」

講師：石井悠久 氏（厚生労働省社会援護局障害福祉部障害福祉課）

現在の障害者を取り巻く状況等や就労継続支援A型事業所の適正な運営について、事業所の実態調査を踏まえた経営改善計画の主旨と今後の運用方法について講演いただきました。

講演 13：10～14：10

「越境するA型の活動」

講師：飯田大輔 氏（株式会社恋する豚研究所 代表取締役）

事業を開始する経緯や事業所の紹介、事業を行う上での着眼点や他分野の専門家を巻き込んだ事業展開と新事業の立ち上げについて講演いただきました。

分科会 14：15～15：35

●分科会1「九州から盛り上げるA型事業所の未来」

コーディネーター：本村達弥 氏（NPO法人まちくらネットワーク熊本 施設長）

登壇者：井上靖 氏（株式会社ぱいおにあ 未来サポートステーション統括施設長）

玉城卓 氏（合同会社ソルファコミュニティ代表）

山田健二 氏（社会福祉法人 東康会 統括施設長）

坂本暁彦 氏（NPO法人ゆとりワークショップ道の家 サービス管理責任

者）

各登壇者より事業所活動の紹介、今後の課題として、最低賃金・消費税増税に対する対応等についての情報共有を行いました。

- 分科会2「官民一体となって創り上げるわが街くまもと～ネットワークを活かして～」
コーディネーター：山田浩三 氏（熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会長）
登壇者：小山恭正 氏（熊本市障がい保健福祉課 企画調整班・主査）
原田文子 氏（くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター「縁」主任支援ワーカー）
福島貴志 氏（はーとアラウンドくまもと 会長）
桑崎善幸 氏（NPO法人まちくらネットワーク熊本 副理事長）

熊本市障がい者自立支援協議会就労部会での各機関との連携事例や、熊本市とA型事業所との連携「AMT（A型ミーティング）」の活動報告、事業所間連携についての報告を行いました。

- 分科会3「熊本の農福連携の実態報告～マッチング～」
コーディネーター：松本保孝 氏（社会福祉法人十百千会障がい者総合支援センターゆきぞの統括施設長）
登壇者：宮崎由紀生 氏（NPO法人熊本南自立支援センターうきUKI豊穰理事長）
國友哲太郎 氏（社会福祉法人 天水福祉事業会統括施設長）
山下弘幸 氏（株農テラス 代表取締役）

各事業所の「農福連携」の事例報告と福祉事業所と農業者とのマッチングにおける「熊本モデル」の報告を行いました。

全体ミーティング 15：50～17：00

- 分科会報告

各分科会コーディネーターより分科会の報告を行いました。

- 九州・沖縄の各支部より挨拶

パネリスト・コーディネーターを務めていただいた福岡県の井上靖氏、熊本県の本村達弥氏、沖縄の玉城卓氏の他に、佐賀県より中村儀成氏、大分県より羽矢一弘氏、長崎県より舩元淳子氏、鹿児島県より谷山寛英氏にご挨拶をいただきました。

- 全Aネット報告

報告者：久保寺一男理事長

全Aネットより活動報告と各機関からの助成事業委託の今後の展開・取り組みについて報告を行いました。

- 大会宣言

発声者：本村達弥 氏（NPO法人まちくらネットワーク熊本 施設長）

*全体的なまとめ

講演・行政説明・分科会と盛り沢山な内容となりましたが、フォーラムのサブテーマである「誰のために、何のために自分たちが在るのか」について、いろいろな視点から論議され、我々支援者は制度の動向に対応しながら、利用者方々の「はたらく」をどのように支援していくかのヒントを得られました。

また、九州・沖縄地区の各事業所間の連携を感じましたし、今後、さらに連携の進化を期待できる内容のフォーラムとなりました。

開催にあたり、日本財団の助成をいただいたこと、また後援をいただいた熊本県・熊

本市に深く感謝申し上げます。また、熊本県のA型事業所には入念な準備をしていただき、お陰様で良いフォーラムとなりました。深く感謝しております。